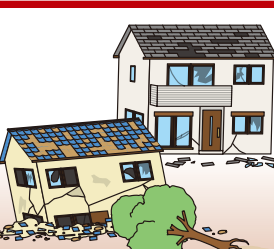


3-3 地震によって想定される被害

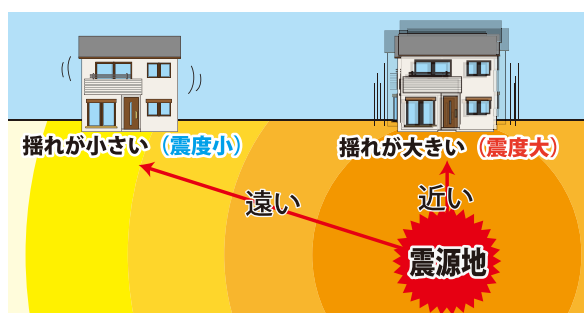
震度 0 人は揺れを感じない。	震度 4  ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物等が、倒れることがある。	震度 6弱  立っていることが困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度 1 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	震度 5弱  大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 6強  はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 2 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	震度 5強  物につかまらないうと歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちる物が多くなる。ブロック塀が崩れることがある。	震度 7  耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。
震度 3 屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。		

マグニチュードと震度

マグニチュード……地震そのもののエネルギーの大きさを表す指標です。

震度……それぞれの場所での地震の揺れの度合いを表す指標です。

震度は、「地震のマグニチュード」、「震源地からの距離」、「地面の固さ」によって異なります。



揺れる前に知らせる「緊急地震速報」

緊急地震速報とは、震源近くの地震計で地震波をとらえ、震度等を予測し、可能な限り素早く発表する地震情報です。

発表内容……震源地や震度4以上の揺れが予測される地域など

発表条件……最大震度が5弱以上と予測された場合

緊急地震速報を聞いたら、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

※緊急地震速報には、予測震度に誤差を伴うことや、震源近くでは情報が間に合わないなどの限界があります。

テレビ・携帯電話・音声放送端末機などでお知らせ

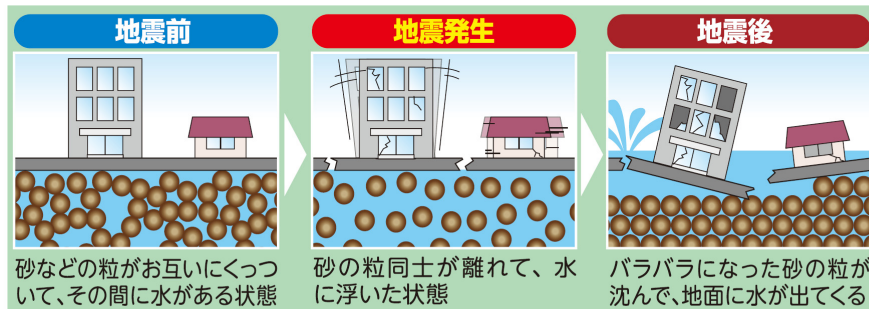


液状化について

液状化とは、地震の揺れによって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象です。この現象により、地上の建物が倒れる、道路が陥没する、下水道のマンホールが浮き上がるなどの被害が発生します。

液状化が発生しやすいのは、河川沿いや埋立地など水分をたくさん含んだ砂質の地盤です。

液状化発生のおきみ



液状化の対策

戸建住宅の液状化対策には右図のようなものがあります。専門業者に相談し、最適な対策を検討しましょう。

